

# 不器男記念館瓦版

(1)

令和七年七月発行

白藤は花馬酔木だった!?



芝不器男さんの代表作のひとつでもある「白藤や揺りやみしかげうすみどり」。宇和島市の伊達博物館や宮城県仙台市の瑞雲寺に句碑が建立されています。

その「白藤や」の句ですが、原案で登場する植物は「白藤」ではありませんでした。不器男全句集の、「前書きのある句」の中に、「久米地吟行」として次の作品があります。

花馬酔木揺れやむときのうすみどり

こちらが「白藤や」の原案だったと推測されますが、最終的には和歌的な世界観の俳句に推敲するときに「花馬酔木」を「白藤」という優美なものへと変更されました。実際に見たものを大胆に変えてしまう芝不器男さんの推敲の片鱗が垣間見られる一句です。

## 不器男塾のご案内

不器男記念館では、毎月第3土曜日に、不器男塾を開催しています。芝不器男さんの俳句や、学生時代に書いた日記などをテキストに芝不器男さんの俳句の魅力や松野町の原風景を考えます。参加費は無料（高校生以上は入館料200円が必要です。）定員は十二名と席に限りがあるので、初めて参加される方は、松野町役場までご連絡ください。



## 不器男塾の一句

晴天の友の墓前に白藤を	玄基
藤垂るる母の頭を撫でるごと	天弓
山藤ゆるるトンネル出口へと	藍月
むらさきの淡きより藤またたきぬ	ゆか
藤揺れて幽霊船が汽水域	ぱんだ
藤棚や池にうつりし地球儀や	五鈴

## 不器男記念の予定

七月十九日	ゆかたまつり（不器男記念館入館無料デー）
八月二十三日	不器男塾
九月二十日	不器男塾